

第4回 災害対策本部員会議の概要

日時 令和元年10月14日（月）

10時00分から10時20分まで

場所 県庁3F 第一応接室

災害対策本部総務班

10時00分開会

【災害対策本部】

- 関係機関からのリエゾンの紹介。

【盛岡気象台次長】

- 台風第19号の状況について報告。
(資料を基に説明)

【西島防災危機管理監】

- 対応状況を報告。
(資料を基に説明)
- 今後の会議について報告。

本日、知事、副知事の現地視察を予定。次回の本部員会議は17時を予定しているが、知事、副知事が帰庁し、態勢を整えてからの開催となる。

【各本部員等】

- 各部局及び関係機関の対応状況等について報告。

・ 県土整備部長

釜石地区の9時半時点の情報。1級市道尾崎白浜線の土砂崩れについて、緊急車両が通行可となった。尾崎白浜の孤立地区までの伝達が可能となった。

重茂半島線は大分傷んでおり、早期の復旧は困難と見込まれる。白浜地区の通行不可となり、津軽石方面から県道の啓開を行い、本日9時半に作業完了し、通行可となった。白浜から東側の道路寸断部分については大規模な状況である可能性があり、詳細不明。重茂までのルートについては昨日までに対応しており通行可。館市橋の橋梁は流出しているが、復興事業で行っている途中の橋を使用して通行可。南下する石浜までは通行可。川代については、大沢方面から対応を完了している。石浜・川代間は大規模崩落であり、復旧に時間を要する。

- ・保健福祉部長

医療機関に関しては、軽微な浸水等はあるが、診療に影響のある大きな被害はない。透析関係について医療機関の問題はなく、患者の送迎も本日は通常通り。

福祉施設関係の軽微な損傷はあったが復旧されている。

孤立状態となっている障がい者福祉施設について、宮古市内のわかたけ学園は、本日10時にへりで対応していただき、水、食糧について補給、併せて健康状態についても確認する。

- ・教育長

わかたけ学園、はまゆり学園に隣接する宮古恵風支援学校への国道45号及び市道が土砂崩れによりアクセス出来ず、確認が取れていない。現在、徒歩で確認を行うところ。はまゆり学園等から通園生があり、明日以降の学校の運営等については、スクールバスが通行困難であること等から現在検討中。

市町村立の幼稚園、小中学校について、14市町、53施設で屋根の剥がれ、倒木の被害。県立高校関係の被害は24校。大きい被害は、気仙光陵支援学校の校舎の屋根がめくれあがっている。それ以外は倒木、土砂の流入。

県立博物館、青少年の家でも若干の被害。

- ・政策地域部長

鉄道関係だが、三陸鉄道盛～釜石間では、本日から運転再開。釜石～久慈間では路盤の流出、法面の崩壊や土砂の流入があり、運転再開まで相当の期間を要する。道路状況により未確認区間があり、引き続き線路状況の確認を実施している。

- ・農林水産部長

りんごの落果被害は、特に県南地方を中心にかなり広範囲で発生しており、現在調査中。

久慈地区のプロイラーで大きな被害があり、数万羽単位でのへい死と見られる。

林道は路盤流出等が一関市と岩泉町の4か所確認されており、更に調査を行う。

水産関係施設での被害は、釜石市、大船渡市、大槌町で漁船の破損、転覆が9隻、重茂漁協のふ化場施設で浸水があったとの情報があり調査中。

- ・陸上自衛隊岩手駐屯地

普代村の道路啓開、釜石市の給水活動を実施中。道路啓開については市町村で民間の設備等を使用していると聞いているが、人力が必要な場合は対応するので要請を。

- ・商工労働観光部長

産業技術短期大学校宮古高等技術専門校で事務室の床上浸水。実習等も浸水するも、パソコン、書類等は予め移動しており、被害はない。

- ・環境生活部長

宮古市の浄土ヶ浜園地内の道路等で法面の崩壊が4か所あり、進入禁止となっている。

・沿岸広域振興局長

釜石市の箱崎、白浜地区については、昨日釜石海上本部が海から上陸して水を届けた。箱崎、白浜地区と佐須地区については、本日は陸上自衛隊が水を届ける予定。

孤立している地区について追加で依頼したい。

【総務部長】

- 対応方針を報告。
(資料を基に説明)

【西島防災危機管理監】

- 知事、副知事の現地視察について報告。
知事は普代村、千葉副知事は釜石地区、保副知事は山田町船越半島地区を車両にて視察実施。
帰庁後、意見集約を行った後、災害対策本部会議を開催予定。

【盛岡地方気象台】

- 気象警報は解除したが、これまでの大雨により土砂災害の危険が継続しており、少しの雨でも警報基準に達することが考えられることから、引き続き、気象台からの防災情報についてご留意頂きたい。
- 気象庁ホームページのトップ画面の右側にバナーを設け、今回の台風に関する専用のポータルサイトを設置。市町村ごとに関覧できるようになっている。

【達増本部長（知事）】

自衛隊、気象台、リエゾンの皆様にご出席いただき御協力に感謝申し上げます。

発災から3日目となっているが、引き続き人命第一で、孤立されている方々、ライフラインが途絶しているところ、避難している方々、食事、安全と健康に必要なものが得られるように確保していく必要がある。

避難所、避難者数が減少傾向にあるが、一方で、孤立している方々、浸水等の住家被害等については新たな情報が入ってくる途中にある。しっかり状況の把握に努めてもらいたい。

農業、水産業、林業等の産業関係、病院、福祉施設、学校等の社会関係の施設等についてもこれから判明することもあると思うのでよろしくお願ひしたい。

停電の解消については非常に早い勢いで解消されていることを東北電力に感謝申し上げます。引き続きよろしくお願ひしたい。

大河の氾濫ではなく、狭い範囲内での冠水や土砂崩れがいたる所で起きているのが岩手の災害の特徴であり、横からよりも真上から雨や土砂などの被害が落ちてくる地域について

では、アクセスが難しかったり情報が入手しにくかったりする。自衛隊については適確に対応して頂いていることに感謝申し上げます。引き続きそうした所の被害の情報を把握しながら、まずは人命第一で、そして、それぞれ生活や仕事があるのでいち早く復旧という段階に進んでいくことが出来るように対応を進めて参りましょう。

10時20分閉会

※ 第5回本部員会議は10/14（月）17：00を予定。（知事、副知事帰庁後）